

□通室生と本棚をつくりました

こもれびルームの本を収める本棚が必要となり、10月17日に通室生と一緒に作りました。使われなくなった棚板を利用し、本の重さに耐えられるよう廃材をあて木とするなど、工夫をこらしたところ、頑丈な仕上がりとなりました。



□カボチャプリンとパンケーキをつくりました

10月26日のサークル活動では、カボチャプリンとカボチャパンケーキをつくりました。優しい甘さで大変美味でした。



【通室生の感想】

(前回の)パンの方が難しかったので、今回はわりと簡単だった。

□ガーデンに花の苗を植えました

10月23日に、通室生と大学生スタッフが花の苗を30株植えました。花の苗はビオラ20株、クリサンセマム10株です。

同時に、イチゴの苗5株も植えました。今後の成長が楽しみです。

【通室生の感想】

大変だったけど、達成感が得られました。



○コスモスが満開になりました

こもれびガーデンのコスモスが満開です。蝶(ヒメアカタテハ)もきてくれました。



□こもれび親の会を開催しました

10月29日(日)13:30から、「こもれび親の会」を開催したところ、6人の保護者の参加がありました。

元県立学校長の谷口雅美さんを講師にお迎えし、ご自身が子育てと向き合った経験や、教員として生徒に携わってきた経験を踏まえたお話をしていただきました。

交流会では、お互いの現状や不安に思っていることを語り合い、最後は個別の相談会を行いました。



写真は谷口先生が歌を披露している様子です。

【参加者の感想から】

- ・谷口先生のお子さんの話が、我が家と重なり胸にぐっと来た。
- ・同じ環境の方と話をすることができて良かった。
- ・スクールカウンセラーの助言から、「見守り」と「放置」は違うことが理解できました。

「こもれび親の会」は、保護者同士の交流を通してつながりを広げてもらうことや、個別相談の場を設け、必要な情報を得て適切な支援につながることを目的としてこれまで3回開催しました。今年度はあと1回の開催を予定しています。

2月16日(金) 18:30~20:30

【問い合わせ・申し込み】

○三重県教育員会事務局生徒指導課不登校支援班

電話：059-213-6611

○県立教育支援センター こもれび

電話：059-213-6612

メール：komorebi@pref.mie.lg.jp



□「己書」に挑戦しました

11月7日(火)のオンラインの居場所は、坂口真美先生を講師にお迎えし、「己書」教室でした。こもれびでも、通室生と指導員で「己書」に取り組みました。

作品をオンラインでお互いに発表したとこ



ろ、通室生の作品を見て、坂口先生が「すごい!大変上手ですね。」と絶賛されていました。出来上がった作品を紹介します。



【通室生の感想】

- ・楽しかった。上手に描けて良かった。

おのれしよ

《「己書」とは》

書道で表現する自分だけのオンリーワンの書のことです。自分の世界観を楽しく表現する新感覚の書。

□モンブラン作りに挑戦しました

11月30日(木)に、洋菓子のモンブランづくりをしました。クリスマス仕様でとっても素敵な仕上がりとなりました。



マロンクリームを練っています



マロンクリームを丁寧に絞りだしています



できあがり!

この後、試食・片付けを終えた通室生が、迎えに来た保護者にモンブランの写真を見せ、嬉しそうに報告する姿が見られました。

こもれびの年末年始の利用について

- ・年末は12月26日(火)まで利用できます
- ・年始は1月5日(金)から利用できます

□年末を迎えて「こもれび」では

【こもれびルーム】

通室生、大学生スタッフ、指導員で工夫をこらしたクリスマスの飾りつけを作りました。新年の飾りつけも制作が進行中です。



通室生の感想: つくるのに時間がかかったけど、楽しかった。

【こもれびガーデン】

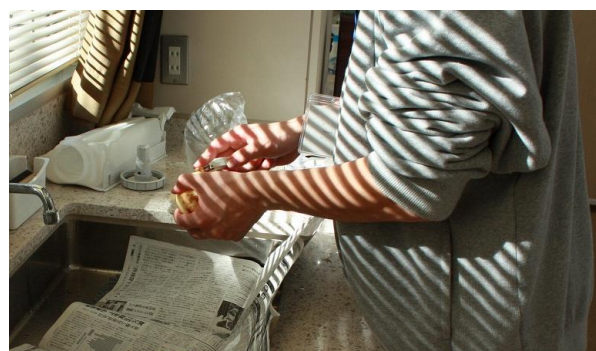


順調にビオラが育っています。

□獲れたてのジャガイモを調理しました

1月10日(水)に、こもれびガーデンで栽培していたジャガイモを収穫しました。

小さいものはピンポン球くらい、大きいものはソフトボール大までさまざまでした。収穫は、指導員と大学生スタッフで行い、とりたてのジャガイモを通室生と一緒にホットプレートで調理して美味しくいただきました。



【通室生の感想】

- ・簡単だけど、楽しかった。
- ・チョコがかかっていない方が美味しい。
- ・冷ますと、もっとパリパリになるのかな？

□藤原康博さんをお迎えして

県立美術館とコラボレーションした取組として、1月19日(金)に三重県松阪市出身の美術家・藤原康博さんを「こもれび」にお迎えしました。みんなで「心の中にある山」を描きました。



写真は、作品について、藤原さんにコメントいただいている様子と、藤原さんが描いた作品です。

【藤原康博さん】

国内の美術大学を卒業後、ロンドンに学び、現在は三重県伊賀市を拠点に制作を行っています。「記憶」や「あいだ」への関心に基づき、意識に潜在するイメージと現実の風景のあいだにある山や森を現してきた作家です。(三重県立美術館 藤原康博「記憶の稜線を歩く」リーフレットから)

□「こもれび親の会」を開催します

2月16日(金) 18:30~20:30

「こもれび親の会」は、保護者同士の交流を通してつながりを広げてもらうことや、個別相談の場を設け、必要な情報を得て適切な支援につながることを目的としてこれまで3回開催しました。今年度最後の「こもれび親の会」を開催します。

【問い合わせ・申し込み】

○三重県教育員会事務局生徒指導課 不登校支援班

電話：059-213-6611

メール：seishi@pref.mie.lg.jp

○県立教育支援センター こもれび

電話：059-213-6612

メール：komorebi@pref.mie.lg.jp



□おめでとうございます!

「門出を祝う会」を開催しました

3月11日(月)～13日(水)に4月から新しい生活が始まるこもれび利用者と大学生スタッフを対象として、ささやかですが、「門出を祝う会」を開催しました。ちょっぴり寂しくも、微笑ましく、嬉しい、祝う会となりました。



手作りの花束とメッセージを手渡しました



「こもれび」での思い出に話が咲きました



手渡したメッセージカードと花束です

【参加した利用者の感想から】

- ・話を聞いてもらったり、支えてもらったりしました。これからも、ここでのことを思い出して頑張っていきたい。
- ・困ったときや悩んだとき、親にも言えず、先生にも言えず、だれに相談したら良いかわからない時に、話を聞いていただき支えてもらいました。ありがとうございました。
- ・苦しい時もあったけど、こもれびは安心してできる場所だった。初めは自分らしさを見失っていたけど、段々出せるようになってきた。こもれびで支えてもらいながら過ごして、やりたいことを見つけることができた。
- ・進路のことなど、いろんな悩みを抱えていたけど、こもれびにお世話になって、気持ちが楽になりました。(出席者の母親)

【大学生スタッフの感想から】

- ・いろんな経験をこもれびで積ませてもらいました。子どもの気持ちに寄り添うことについて学ばせてもらいました。これからの教員生活でいかしていきたいです。ありがとうございました。
- ・自分の長所を誉めて伸ばしてもらいました。今後もここでの経験をいかしていきたいです。ありがとうございました。

年度末・新年度の利用について

- 年度末は
3月27日(水)まで利用できます
- 新年度は
4月3日(水)から利用できます
- 利用時間は10時～16時です